

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		東京都品川区大崎一丁目11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		株式会社ローソン 代表取締役 竹増 貞信			
事業概要		コンビニエンスストア”ローソン”のフランチャイズチェーン展開			
該当する事業者要件		<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	6,773.0	kl
		<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台
		<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者			
計画期間		2022年度～2026年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		本計画期間(5ケ年)の目標として、原単位当たりのエネルギー使用量を毎年1%程度の削減を図る。			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		九州エリアサポート部長を執行責任者とし、熊本地区支店長を推進責任者として、省エネ施策等の進捗管理を実施する。			
		環境マネジメントシステム名称	(返上済)	適用範囲	取得年月日
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		<p>■店舗の電気使用量削減のため、以下の取り組みを実施します。 ①冷凍・冷蔵機器の入替え、②空調機の入替え、③LED照明の導入</p> <p>■店舗での「省エネ10か条」における節電対策</p>			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2021)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度(B) (2026)年度	増減率 ((B-A)/A)
		9,610 t-CO ₂	t-CO ₂	9,130 t-CO ₂	△5.0 %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		原単位 40.373 当たり t-CO ₂	原単位 当たり t-CO ₂	原単位 38.354 当たり t-CO ₂	△5.0 %
		原単位の考え方	指標;売上高 単位:億円		
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ローソン緑の募金」による学校緑化、森林整備事業の実施 ・お客様とともに省資源(レジ袋削減)の実施 ・食品リサイクル、廃棄物の分別推進による排出量削減への取り組み ・物流の共同配送による効率化 			

- 備考
- 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
 - 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。